

憲法9条に反する

日本共産党

戦争法案は廃案に

「戦争法案」反対の
一点で共同を!!

政府は、自衛隊が海外で武力行使を行うことを隠すとしています。危険性はハッキリしました。戦場でまつたときに犠牲にされるのは未来ある若者です。「若者を戦場に送るな」の声をあげましょう。

首相「戦争法案は攻撃されたらどうなるのか」「武器の使用になる」

首相は志位氏の追及に「(攻撃を受けた場合は)自卫保存型の武器の使用になる」と、武器使用の可能性にも言及。志位氏は「自衛隊が武器を使用すれば、

戦争法案は、自衛隊の活動地域を「戦闘地域」にまで広げます。そのことを指摘された首相は、「自衛隊活動の実施区域について「戦闘行為がないと見込まれる場所」を指定すると弁明しました。しかし、志位氏が「そんなことは法案には一言も書いていない」と批判。逆に法案では、「(自衛隊が活動している場所で)戦闘行為が行われるに至った場合」を想定して対応方針を明記している事実を指摘し、ただしました。

首相は「(攻撃される)可能性が100%ないと申し上げたことはない」と認めました。

首相「(自衛隊派遣は)戦闘行為がないと見込まれる場所」「そんなことは法案に一言も書いていない」「(攻撃される)可能性が100%ないと申し上げたことはない」

日本共産党の志位和夫委員長は5月27日の衆院安保法制特別委員会の総括質疑で、自衛隊が戦争法案にもどづいて「戦闘地域」で米軍への「後方支援」を行えば、結果として戦闘を行うことになると迫りました(上写真)。志位氏の追及に対し、首相は自衛隊への攻撃の可能性があることや、その際の武器使用を認めました。まさに自衛隊が現実に攻撃され、「殺し、殺される」危険が決定的に高まることが浮きぼりになりました。

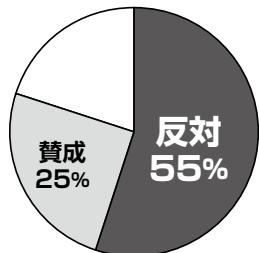


「殺し、殺される」危険
決定的に高まる
共産党・志位^{委員長}追及で浮きぼり

いつでも、どこでも、米のどんな戦争にも参加

安倍政権の暴走、「戦争する国づくり」ストップ

戦争法案の
今国会成立に



「日経」5月25日付

「毎日」25日付

世論は反対が多数

日本への武力攻撃がなくても、集団的自衛権を発動し、自衛隊が海外での武力行使に乗り出す」とになります。

ベトナム戦争のようなアメリカの無法な先制攻撃であっても、「個別具体的、総合的に政府が判断する」（安倍首相）とい

「ポツダム宣言の（間違った戦争という）認識を認めないのか」。党首討論で共産党の志位委員長が安倍首相にただしたのに対し、首相は「ポツダム宣言」を「つまびらかに読んでおらず、承知して

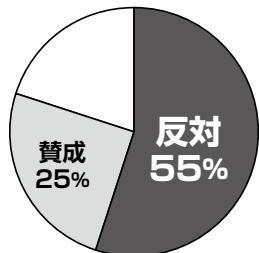
戦争の善悪の区別つかない首相に 戦争法案出す資格ない

いない」と答弁。

日本の戦争を「世界征服」のための戦争と認定した同宣言は、戦後政治体制の原点です。

日本の戦争の善悪の判断ができない首相に、法案を出す資格はありません。

戦争法案の
今国会成立に



3集団的自衛権で武力行使

先制攻撃の
戦争にも参加

日本への武力攻撃がなくても、集団的自衛権を発動し、自衛隊が海外での武力行使に乗り出す」とになります。

ベトナム戦争のようなアメリカの無法な先制攻撃であっても、「個別具体的、総合的に政府が判断する」（安倍首相）とい

PKO（国連平和維持活動）法を改定し、形式上「停戦の意」があつても戦乱が続いている所に派兵します。武器の使用も自己防衛だけでなく、任務遂行のためでも許され、武器を使った「治安維持活

2戦乱が続く地域で治安活動

アフガンで
3500人戦死

動」を可能にします。

これによってアフガンで3500人も死を出した国際治安支援部隊（ISAF）のよつた活動に道を開く」となります。首相もこれを認めました。



米海兵隊との共同演習で射撃訓練をする陸上自衛隊員

1「戦地」まで行って軍事支援

「必ず戦死
者がいる」

安倍首相は「戦争法案」を「国民の命と平和な暮らしを守る」ためだといいますが、とんでもありません。法案はすべて自衛隊の役割を拡大して、海外派兵や米軍支援にあたるためにものです。憲法の条を全面破壊する「3つの大問題」があります。

戦争法案3つの大問題

米国が世界のどこのアフガン・イラク戦争のよつた戦争を始めた後、自衛隊がこれまで禁じられてきた「戦闘地域」にまで行って軍事支援をする」となります。

「必ず戦死者が出る」（柳沢協二・元内閣官房副長官補）ことには避けられません。